

1 教科・単元名

総合的な学習の時間

もっと住みよい町にしようプロジェクト ～その2「町の安全パトロール」～

2 本時の目標

- 目的に合った信号機のプログラムを考え、コンピュータ上で組み立てて実行できている。
(知識・技能)

3 本時のねらいは達成されたか

・自分が考えたプログラムを実行し、すべての班がうまく作動させることができた。また、児童のふり返しには「つくりたい信号機ができた」「今日、考えていたプログラムはうまく実行できたが次は、運転手の気持ちも考えて改良する」など、次の課題について書いている児童もいた。このことから、ねらいはほぼ達成できたと思われるが、約3名はまだブロックを組み合わせることに関する理解が難しく、今回はペアで取り組んだので一人一人の見取りにはなっていない。

4 目標達成のための手立てと成果

(1) 情報活用能力の育成

- フローチャート（設計メモ）を作って、課題を小さく分けて考え、よりよくなるように順序を考える力が育成できた。（プログラミング的思考）
- プログラムの途中にウォッチングタイムを設定したことで、「お年寄りが安全に横断歩道を渡るには…」など、お互いの目的に合ったプログラムをアドバイスし合い、改善していくことができた。

(2) 主体的な学び

- 実際に信号機の設置場所に行き、交通量や利用者・信号のプログラムについて調査したことで、目的意識をもって課題解決に取り組むことができた。
- 町の実態を踏まえて、課題を解決するためにプログラムを考えたり、組んだプログラムがうまく作動するかを何度も確認したりしながら主体的に活動をすることができた。

5 課題

- 技能面に課題が見られる児童がいたため、プログラムは個人で作成し、実行する時にキットを使うなど一人一人のスキルが確認できる工夫をしてプログラムを組めるようになると、さらに学びが深まった。

6 分科会の指導助言を受けて

・教科で身に付けた資質・能力を活用・発揮させることが各過程における情報活用能力の育成につながると分かった。

